

令和7年度協議会の概要を報告します

令和7年度の日黒本町六丁目・原町地区密集市街地総合防災協議会は3回開催しました。防災デーの参加を機に、第3回協議会に参加くださった方もいます。協議会では、まちづくりや防災活動等に関心のある、地区内在住の方の参加を広く呼び掛けています。関心のある方はお気軽の事務局へご連絡ください。

第1回協議会

開催日時 令和7年6月11日（水）18:30～20:30
会 場 向原住区センター2階 201・202（以下同じ）
議事項目 ・協議会新会長の就任・挨拶
・令和6年度及び令和7年度の取組等について

第2回協議会

開催日時 令和7年8月25日（月）18:30～20:00
議事項目 ・公園整備候補地について
・令和7年度防災デーについて

第3回協議会

開催日時 令和8年1月26日（月）18:30～20:00
議事項目 ・令和7年度防災デーの実施報告
・事業延伸に向けた取組について
・公園整備の状況

【協議会での主なご意見】

- ・昨今は町会加入、特に集合住宅居住者の加入が難しい。表札がないところも多いので町会活動などはポスト投函で案内するしかない。
- ・災害時は在宅避難が原則の方針を都も区も示しているのに、集合住宅への情報周知は重要課題である。
- ・発災後すぐに公助を頼ることはできない。生き延びるために何をするか、日頃から考え、備える必要がある。
- ・木密協議会はためになる情報が多いので、参加したくなる案内パンフレット等で周知してはどうだろうか。



ご案内 私のうち NOTE・私のうち BOOK

当地区の一部（目黒本町六丁目、原町一丁目、洗足一丁目の一部）は、「不燃化特区」に指定されており、建替え等が難しい無接道敷地の権利者の個別訪問等を通して、解決に向けた支援を令和3年度から行っています。

こうした経緯をふまえ、無接道敷地で建替えを実現するための課題解決を図るため、分かりやすい冊子を作成しました。

右記の二次元コードから見る事ができます。



お問い合わせについては、事務局までお願いします。

事務局：目黒区 街づくり推進部 木密地域整備課（担当：永井、石倉、飯場）

〒153-8573 目黒区上目黒 2-19-15（目黒区総合庁舎 本館 6 階）

TEL：5722-9672（直通） FAX：5722-9239 Mail：tosei02@city.meguro.tokyo.jp

目黒本町六丁目・原町地区街づくりニュース No.62

目黒本町六丁目・原町地区 密集市街地総合防災協議会 発行

木密事業に関する アンケートへ ご協力をお願いします

目黒区では、木密事業に関するアンケート調査を実施しています。アンケートは右の二次元コードをスマートフォン等で読み取るとアクセスできます。順番にクリックしていくと数分で完了しますので、ご協力よろしくお願いします！



木密事業は 令和8年度より 5年 延長します

目黒本町六丁目・原町地区の木造住宅密集地域整備事業（木密事業）は、平成13年度より事業導入し、公園整備や建替えの促進を進めてきました。昨年度学識経験者による事業評価委員会で審議し、「事業は継続すべき」（事業継続による効果がある）という評価内容を目黒区から東京都を通じて国へ提出しました。今年度は、整備計画等を取りまとめ、令和12年度までの5年間の期間延伸の手続きを行いました。

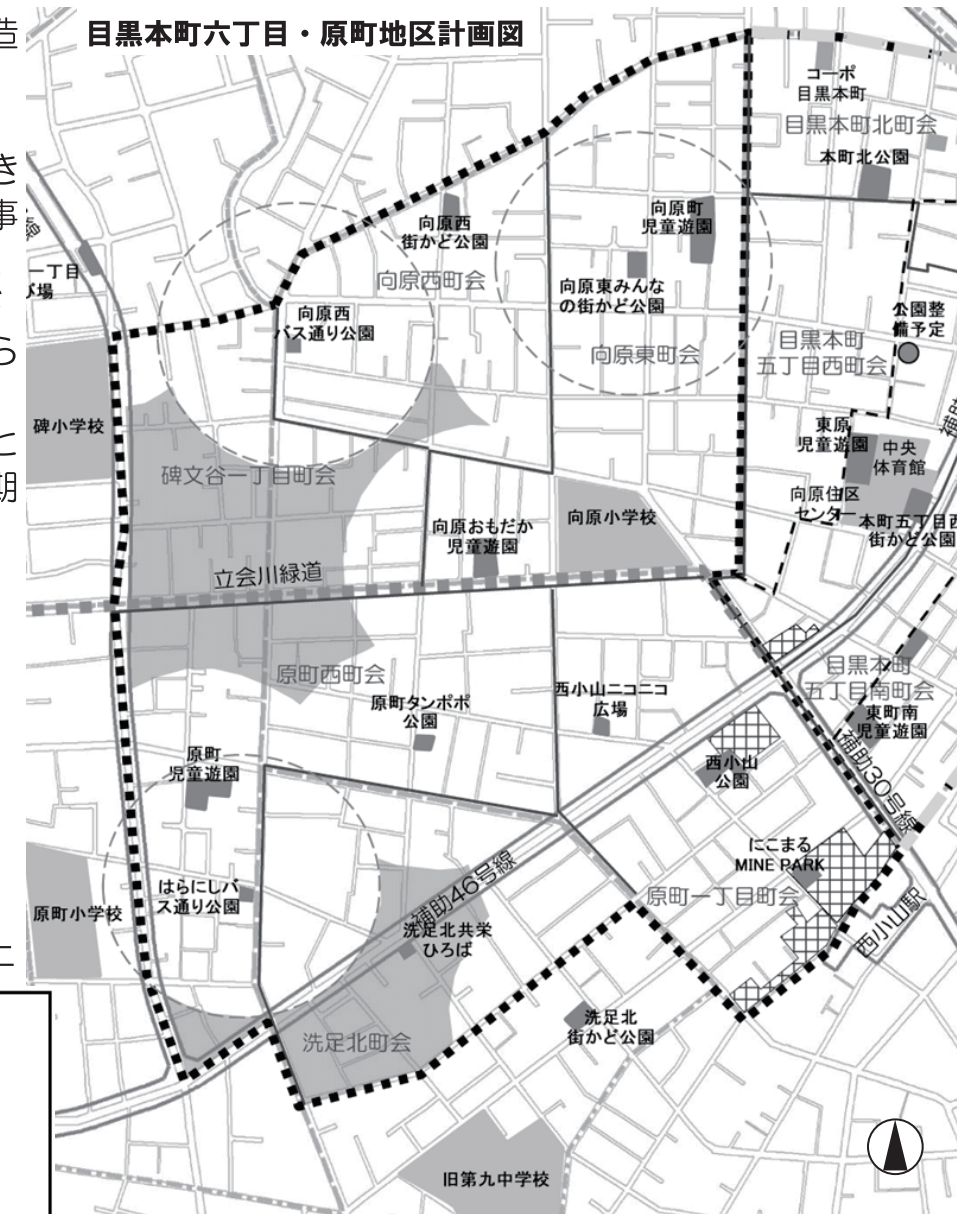
＜事業期間＞

平成27年度～令和7年度
→令和12年度まで延伸

＜今後の主な取組＞

- ・公園・道路等の整備
- ・老朽建築物等の建替え促進
- ・防災街区整備事業
- ・ソフト対策による地域防災力の向上

目黒本町六丁目・原町地区計画図



- 目黒本町六丁目・原町地区木密事業
- 防災街区整備事業地区（予定地含む）
- 町会区域界
- 特に公園等を必要とするエリア



令和7年度 防災デー 西小山駅周辺の3つの会場で同時開催

令和7年度の防災イベントは、令和7年11月22日（土）に、「防災デー」として3つの会場を巡る連動体験型で実施しました。3会場をスタンプラリーで巡りながら、防災レクチャーやワークショップを企画、誰でも気軽に参加できるよう自由参加としました。親子での参加や通りがかりの方など、60名超の方々に来場いただきました。ありがとうございました。

会場1 クラフトビレッジ西小山（ハジマリルーム）：防災グッズのワークショップ・防災クイズ

UR都市機構の協力により、ゴミ袋でレインコート、新聞紙でスリッパといった身近なものを使った防災グッズを作りました。シールやテープを貼って、思い思いのデザインを楽しみました。

会場には防災クイズのパネルを展示し、持ち帰ってからも学べるように、スタンプラリーカードにも掲載しました。



ワークショップの様子



防災クイズパネル

会場2 にこまるMINE PARK：カービーの防災サバイバル術・ミニ防災講座・移動式遊び場

被災地避難所に100回以上通った、カービーこと星野諭（ほしのさとる）さんの実体験に基づく被災地の避難所のお話（今回は主に能登半島地震の報告）と、衣・食・住・救・風水害に関する防災サバイバル術をレクチャーしました。

「防災の知識は、覚えようとするのではなく、原理原則を理解しておく、災害時に慌てることなく活用できます。」とカービーは話していました。

今年度は、商店街に新しくできた公園「にこまるMINE PARK」の人工芝にカービー手製の遊び道具も広げられ、子ども達は大喜びでした。「災害時避難所などでは、日々の生活に精一杯になりますが、子ども達は身近な遊びを通して、心身ともに立ち直ろうとします。」とカービーは話していました。



実演型レクチャー&体と手を動かして学ぼう！



被災地についてのお話



防寒対策の仕方



遊び場の様子



カービーの遊び道具を乗せた車



紙の食器作り

会場3 西小山公園：防災トイレの使い方（目黒区防災課レクチャー）・防災パネル展示・防災倉庫公開

目黒区防災課が、防災トイレの使用方法や仕組みなど、実際に使われる設備を使ってレクチャーしました。避難所はスペースも備品も限りがあるため、自宅等で安全に過ごせる場合には、災害時でも基本的に在宅避難を推奨しています。「何をどれくらい備蓄しておけばよいか、災害用グッズはどこで入手できるのか？」という質問等がありました。

公園内にはパネルを設置し、「紙おむつは万能・保冷剤も乾かせば吸収剤にもなる」、ペット防災として「避難所に連れていける動物やしつけのノウハウ」など、具体的な内容を展示し、たくさんの方に見ていただきました。防災トイレやペット防災の情報は右記二次元コードから確認できます。

また、原町一丁目町会の協力により、普段は見



災害時のトイレ備蓄
（目黒区防災課）



災害時のトイレ事情
（日本トイレ研究所）



トイレ・ペット防災パネル



ペットとわたしの
防災ハンドブック



防災トイレの説明



町会防災倉庫の中

新たな公園が整備・開園

令和7年度は、地区内2箇所で公園整備を進め、年度内に開園（予定）です。

令和6年度は、3つの公園・広場（向原東みんなの街かど公園、洗足北共栄ひろば、にこまるMINE PARK）が開園しました。令和7年度も新たな公園整備が進み、既に開園している公園と開園予定の公園があります。

公園整備の検討会等にご参加いただきました地域の皆さま、工事中ご協力いただきました近隣の皆さまにお礼申し上げます。

向原西バス通り公園

令和7年10月開園

所在地：目黒本町6-21-9



はらにしバス通り公園

令和8年3月開園予定

所在地：原町2-3-1,17

